

資料2

(仮称) 中山間地域振興ビジョンについて

滋賀県 農政水産部 農村振興課

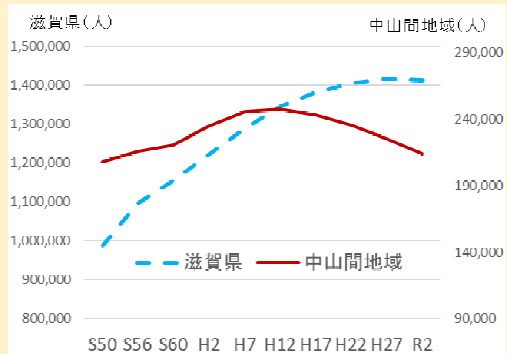
1. 策定の背景 – 中山間地域の現状 –

人

中山間地域人口がH12からR2の20年で-13.5%
※県全体では+5.0%



都市部に比べ
人口減少が進行



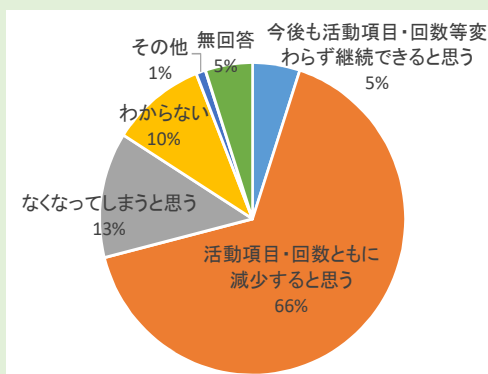
滋賀県人口の推移
(滋賀県推計人口年報より作成)

社会 (コミュニティ)

集落活動が「なくなりそう、減少しそう」と感じる方が79%



将来の地域コミュニティ
低下の懸念



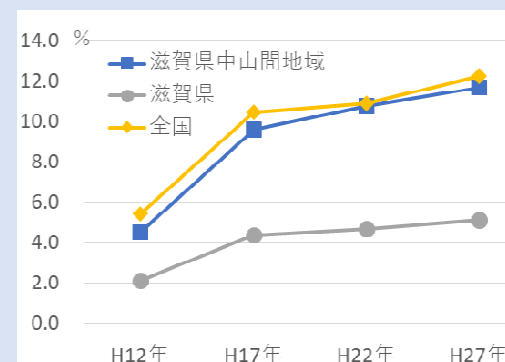
滋賀県中山間地域における
「共同作業・地域活動の今後」に関するアンケート調査 (H29)

経済 (産業)

中山間地域の耕作放棄地率がH12からH27の15年で+7.2% (605ha→1354ha)
※県全体では+3.0%



営農への悪影響



耕作放棄地の推移
(農林業センサスより作成)

1. 策定の背景 －国・県の取組－

【国の交付金制度】

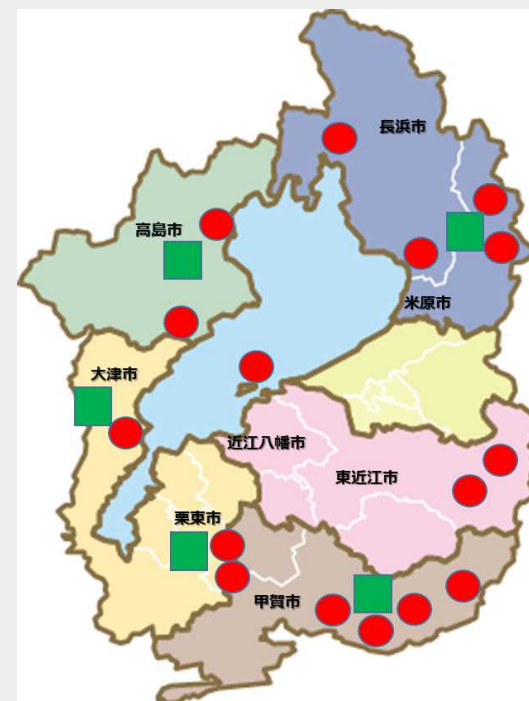
- ・ 中山間地域等直接支払制度
- ・ 森林・山村多面的機能発揮対策事業

【滋賀県独自の取組】

- ・ **しがのふるさと支え合いプロジェクト（H30～）**
- ・ **やまの健康推進プロジェクト（R1～）**

地域資源の利活用や企業や大学など多様な主体との協働の取組をモデル的に支援

やまの健康推進プロジェクト 取組地区		しがのふるさと支え合いプロジェクト 取組地区	
■	大津市葛川地域	●	大津市上仰木地域
	栗東市金勝地域		栗東市観音寺地域
	甲賀市大原地域		甲賀市山女原地域
	米原市伊吹北部地域		甲賀市牛飼地域
	高島市南深清水地域		甲賀市大澤地域
			甲賀市上野川地域
	東近江市政所地域	東近江市百済寺地域	
	長浜市池原地域	近江八幡市沖島地域	
	米原市甲賀地域	長浜市布勢地域	
	高島市南深清水地域	米原市小泉地域	
		高島市鶴川地域	



しがのふるさと支え合いプロジェクト、
やまの健康推進プロジェクト 取組地区
(令和3年度末時点)

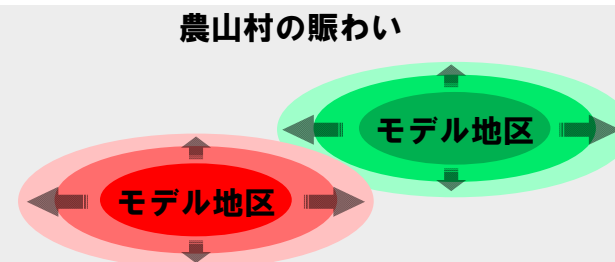


モデル地域において地域の特色を活かした様々な取組が展開され、**賑わいの芽が出つつある**

1. 策定の背景 — 策定の趣旨 —

【現状の課題】

地域住民が主体となった地域活性化の取組をモデル地区から横展開していくことが必要



【目的】

多くの中山間地域において地域住民が主体となった取組が展開され、地域に幸せ（元気）が生まれる

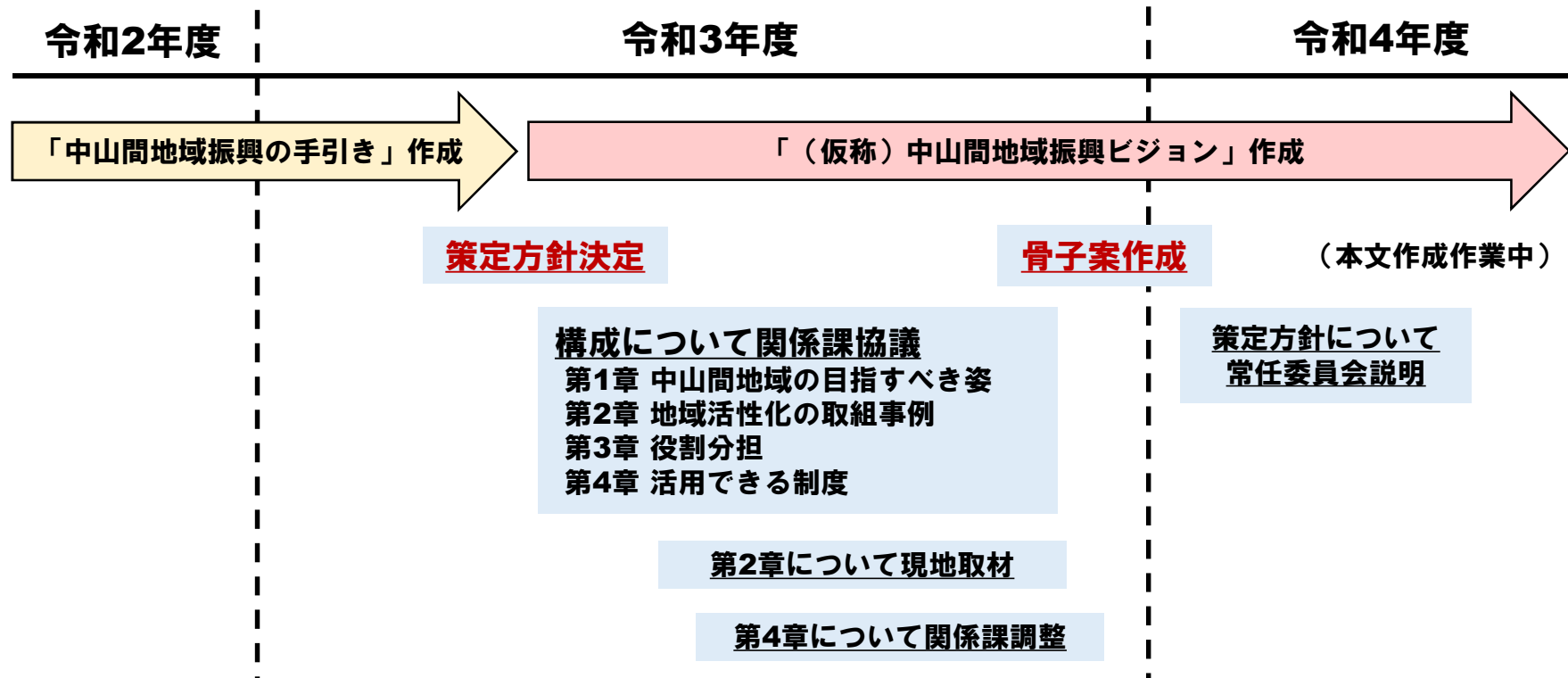
【手段】

地域活性化をどのように進めるかをイメージできるように、地域住民が主体となつて取組を進めるための道標をつくる

掲載予定内容

- ・ 活性化に向けた課題解決の視点 （地域の理想に対してどうアプローチするか）
- ・ 地域活性化の成功事例 （モデル地域で地域活性化をどのように進めたか）
- ・ 活用できる制度 （地域活性化にどのような制度が活用できるか）

2. これまでの成果



「中山間地域振興の手引き」

地域診断シートを用いて地域の現状を分析し、具体的な取り組みを検討してもらうまでの手法を記す

⇒ 実践編

「（仮称）中山間地域振興ビジョン」

地域活性化の取り組み方がわからない人に対して、事例や活用できる制度等を示して、取り組み方をイメージしてもらう道標

⇒ 入門編

2. これまでの成果 — 骨子案 —

滋賀県中山間地域振興ビジョン概要(案)



はじめに

琵琶湖を取り巻く中山間地域は、滋賀県の約66%を占め、山と農村が一体となった人々の営み等をとおり水源かん養や県土の保全などの多面的、公益的な機能を発揮してきた魅力あふれる重要な地域である。その一方で、そこに暮らす人の数は県人口の約15%であるうえ、人口減少や高齢化が進んでおり、近い将来、地域活動の維持、継承が困難となることが予想される。基幹となる農林業の担い手も減少していることから、現在住んでいる住民の力だけでは、地域の将来像を描きにくい状況になりつつある。このため、県では、「やまの健康推進プロジェクト」や、「しがのふるさと支え合いプロジェクト」などを推進するモデル地域を選定し、地域資源の利活用や企業や大学などの多様な主体との協働の取り組みを支援するなど、農山村の価値・魅力を活かした中山間地域の振興に取り組んできた。これらモデル地域では、地域の特色を活かした様々な取組が展開され、賑わいの芽が出つつあることから、これまでの取組から導き出された活性化の視点や活用できる制度等を取りまとめ、地域力の底上げにより、多くの中山間地域で幸せ(元気)が生まれることを目的に本ビジョンを策定するものである。

第1章 中山間地域の目指すべき姿



(1) 目指すべき姿(基本目標)

森林・農山村を一体的に捉え、森林・農地の適切な維持・管理を通じて、持続的に多面的な機能が発揮され、併せて、自然からの恵みを受容することで、農山村と都市において、自然と共生する健康で幸せな暮らしを送っている姿。



(2) 中山間地域振興の基本的な考え方

農林業と農山村に人が住み続けるための環境を整えるとともに、森林や農山村の価値や魅力に焦点を当て、地域のもつ資源を最大限に活かしたモノ・サービスなどによって経済循環や多様な主体との関わりを創出する。

・ビジョンの位置づけ

地域住民が主体となって行う、農山村の価値や魅力を活かした取組を進めるための道標(指針)
※関連する計画等・・・滋賀県農業・水産業基本計画、琵琶湖森林づくり基本計画等

・ビジョンの対象地域(別紙資料)

中山間地域(地域振興立法指定地域、中山間地域等直接支払交付金における知事特認地域)

【活性化に向けた課題解決の視点】

視点① 地域に関わる人を増やしたい

- ☆ 地域のファンを増やし、新たな仲間を受け入れる
- ☆ 企業や大学等の多様な主体との協働に取り組む
- ☆ 農林業等の地域を支える担い手を確保する

視点② 地域に安心して住み続けたい

- ☆ 近隣集落と連携するなど地域の共同活動の強化に取り組む
- ☆ 集落の環境整備に取り組む
- ☆ 地域の実情に応じた土地(農地)活用に取り組む

視点③ 地域資源を活かした産業や地域力を育てたい

- ☆ 農山村の地域資源を活かした産業づくりに取り組む
- ☆ 地域の価値ある資源を体験・体感できる滋賀らしいツーリズムに取り組む

視点④ 農林業を将来にわたり持続的なものにした

- ☆ スマート農林業に取り組む
- ☆ 農林業等の生産基盤整備に取り組む
- ☆ オーガニック農業等の環境こだわり農業に取り組む

第2章 地域活性化の取組事例

- ・(大津市 葛川地域) 自然に寄り添う山里の暮らしを引き継ぎたい!
- ・(栗東市 金勝地域) 自由な発想「住みやすく、人が訪れる集落」をつくる!
- ・(甲賀市 岩室地域) 若手等の参画による集落営農法人の活性化
- ・(米原市 大野木地域) 担い手の営農の効率化に向けた農地の集約化
- ・(米原市 伊吹北部地域) 集落で連携して地域資源を活用し、地域を守る
- ・(甲賀市 大原地域) 森林空間を活かして新たな賑わいづくり
- ・(甲賀市 牛飼地域) 生産基盤の整備とともに田んぼアートで話題づくり
- ・(東近江市 百済寺地域) 地域住民による、まぼろしの銘酒「百済寺樽」の復活
- ・(多賀町 多賀地域) 町産木材を活用した地域内循環への挑戦
- ・(高島市 鶴川地域) 琵琶湖が見渡せる棚田の賑わいを取り戻す

第3章 役割分担

県・市町・県民・大学、NPO、民間企業 別に役割を記載

第4章 活用できる制度(別添のとおり)

2. これまでの成果 —骨子案—

はじめに

第1章 中山間地域の目指すべき姿

- (1) 目指すべき姿（基本目標）
- (2) 中山間地域振興の基本的な考え方
- (3) 活性化に向けた課題解決の視点

第2章 地域活性化の取組事例

第3章 役割分担

第4章 活用できる制度

視点① 地域に関わる人を増やしたい

- ☆ 地域のファンを増やし、**新たな仲間**を受け入れる
- ☆ 企業や大学等の**多様な主体との協働**に取り組む
- ☆ 農林業等の地域を支える**担い手を確保**する

視点② 地域に安心して住みたい

- ☆ 近隣集落と連携するなど地域の**共同活動の強化**に取り組む
- ☆ **集落の環境整備**に取り組む
- ☆ 地域の実情に応じた**土地（農地）活用**に取り組む

視点③ 地域資源を活かした産業や地域力を育てたい

- ☆ 農山村の地域資源を活かした**産業づくり**に取り組む
- ☆ 地域の価値ある**資源**を体験・体感できる**滋賀らしいツーリズム**に取り組む

視点④ 農林業を将来にわたり持続的なものにしたい

- ☆ **スマート農林業**に取り組む
- ☆ 農林業等の**生産基盤整備**に取り組む
- ☆ オーガニック農業等の**環境こだわり農業**に取り組む

2. これまでの成果 – 第2章 地域活性化の取組事例 –

テーマ
地域名
(全10地域)

自然に寄り添う山里の暮らしを引き継ぎたい！

大津市葛川地域

大津市北部に位置する葛川地域は、市中心地より車で約40分、安曇川の美しい清流や山の本木の緑のある自然豊かな山里です。最盛期に1500人を超えた人口は林業の衰退等とともに減少し、237名にまで減りました。平成30年度に組織された「葛川まちづくり協議会」では、人口500名を目指して移住促進や特産物育成の取組を行っています。



キーポイント

- ・地域一体となった移住促進の取組
- ・特産物「リンドウ」の育成と展開

移住者を迎え入れ、ゆるやかにつながる

まちづくり協議会（以下協議会）では、空き家所有者への協力依頼や移住希望者のマッチング、空き家改修等を行っています。また地区内の小中学校と連携して家族ぐるみで移住する「家族留学」を受け入れています。

近年、「豊かな自然の中での暮らし」や「自分らしい生き方」を求めて農山村へ移り住む方が増えています。葛川に移住した皆さんは、農業をする方、協議会事務局として勤務する方、狩猟をして獣骨でアクセサリー等を制作する方、様々です。ある方は「葛川は誰でも自分らしく生きていける所だと思います。」と話しておられました。協議会のHPやフェイスブック、インスタグラムも、移住者の協力を得て、刻々と変化する地域の情報を発信しています。

今年の夏には、移住者や住民、林業関係者が協力し、



取組に至った経緯等

間伐した杉や樟の葉から「アロマオイル」を商品化しました。

これまで地道な取組と「ここへ移り住んだ方には、自由にやりたいことをしてもらいたい。それを通じて葛川が元気になるのが楽しみです！」と迎え入れた人々を大らかに包み込む地域の皆さん。移住者とゆるやかにつながった「まちづくり」を始めています。

「リンドウ」を人と呼び込むツールに！

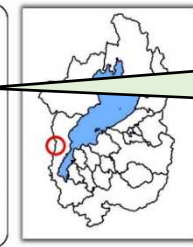
「仕事づくり」を目的に令和元年度に「リンドウ」の栽培を開始。リンドウは冷涼な気候に適し、獣害に強い植物です。移住者の方を加えた「特産物育成部会」で「やまの健康推進事業」を活用しながら栽培を拡大し、販売も始まりました。コミュニケーションをとる機会が少なかった地域の人たちが栽培をきっかけに集まるようになったことが、思いがけない嬉しい副産物となりました。これからは生花としてだけでなく、「人と呼び込むツール」になるよう、じっくりとみんなで育てていきたいと考えています。

地域の写真



地域の現状

- ・大津市葛川地域
- ・人口237人、130世帯、高齢化率54%
- ・坂下町、木戸口町、中村町、坊村町、町居町、梅ノ木町、細川町、貫井町の8集落から構成される。



地域の現状

取組の内容

・葛川まちづくり協議会
平成29年度に全住民と住宅所有者対象のアンケート調査を実施。その結果を受けて、平成30年度に「葛川まちづくり振興計画」策定、実施主体として協議会が組織しました。事業ごとに①移住・定住促進部会②公共交通・通信網整備部会③花の里山部会④地域おこし協力隊検討部会⑤特産物育成部会の5つの部会を作って活動しています。令和元年度には県の「やまの健康モデル地域」に選定され、上記部会での取組を展開しています。

・移住促進の取組
協議会の中の「移住・定住促進部会」では、空き家確保のための所有者への協力依頼、移住イベントを通じた地域のPR、空き家所有者と移住希望者とのマッチング、空き家改修への協力等を行っています。また地区内の小中学校と連携して、自然豊かな子育て環境と少人数教育を売りにした「家族留学」を受入、過去5年間で3組の家族が移住しました。

・特産物「リンドウ」栽培の取組
令和元年度から耕作放棄地活用と移住者の仕事づくりを目的に、県の技術指導を受けて「リンドウ」栽培を開始。令和3年度は6つの圃場（約10a）で栽培しました。JAを通じて市場出荷しつつ、8月から葛川支所前に直売所を設置し、リンドウや特産物を販売。都市部の人を呼び込んでいます。



まちづくり協議会のHP



リンドウのほ場

取組の内容

将来の夢

美しい自然に開かれた山里で、子どもたちが山や川で走り回る姿、果樹や野菜が農地に実る風景、山や川の恵みが人々の収入となること、休日には自然の癒しやレジャーを求めて観光客が訪れること、地域住民がこの地を愛し、この地での生活に自信が持てるようになることを願っています。

将来の夢

2. これまでの成果 – 第4章 活用できる制度 –

テーマ別制度一覧

① 地域に関わる人を増やしたい			
種別	こんなときに	支援区分	ページ
農業	企業や大学、NPO等と連携を図り、集落の活性化を目指す活動に取り組みたい	マッチング・補助金	○
農業	農家民宿を開業したい	相談・研修	○
農業	宿泊を推進したい	補助金	○
農業	地域活性化など農業・農村のめざす姿の実現に向けた話し合いを行いたい	相談・サポート	○
林業	林業就業に向けた研修を受けたい	研修	○
林業	森林組合の雇用環境を改善したい	相談・サポート	○
林業	森林で協働活動をしたい	交流会・マッチング	○
全般	都市住民と一緒に地域課題を解決したい	相談・サポート 研修会、情報提供、ネットワーク	○
全般	滋賀県への移住を体験する機会が欲しい	相談・サポート 情報提供	○
商工	東京圏から県内に移住したい	補助金	○
住宅	売却する予定の中古住宅の劣化状況を知りたい 空き家への移住にあたり、住宅をリフォームしたい	補助金	○
住宅	空き家で困っている。問題を解決するためにはどうしたらいいか	情報提供、相談	○

② 地域に安心して住み続けたい			
種別	こんなときに	支援区分	ページ
全般	他集落と協働して地域運営を行いたい	補助金	○
農業	水路や農道、ため池などの保全に地域で取り組みたい	補助金	○
農業	中山間地域での耕作放棄地の対策や、水路・農道などの保全管理活用等に取り組みたい	補助金	○
林業	地域ぐるみで森林保全管理活動を行いたい	補助金	○
林業	里山の防災整備や予防伐採を行いたい	補助金	○

③ 地域資源を活かした産業や地域力を育てたい			
種別	こんなときに	支援区分	ページ
農業	中山間地域で所得向上に向けた取組を計画的に行いたい	補助金	○
農業	集落の活性化に向けた知識や事例を学んだり、中山間地域の人たちとのつながりが欲しい	研修	○
農業	集落の獣害対策についてアドバイス・指導を受けたい	相談・サポート	○
林業	森林や農山村の資源を活用し、持続的な生業を創出したい	補助金	○
林業	森林資源を利用した製品開発や森林空間を活用する研究開発が行いたい	補助金	○
林業	木製玩具等をレンタルしたり、木育に関する講座を受講したい	研修	○

制度の内容

① 地域に関わる人を増やしたい

事業名	しがのふるさと支え合いプロジェクト	マッチング・補助金
▼こんなときに		
企業や大学、NPO等と連携を図り、集落の活性化を目指す活動に取り組みたい		
▼こんな支援が受けられます		
○内容 中山間地域のみなさんが、地域の課題解決や地域資源の活用のため、企業や大学、NPO 等多様な主体と連携を図りたい時に、県が両者の間に立ち、マッチングを行います。 また、活性化の活動に係る計画書の作成や実践活動に対する補助金の交付を受けることができます。		
1. 中山間ふるさと農村支え合い事業 農村集落と協働・連携し、活性化の取組を行う企業や大学、NPO 等に支援を行います。		
2. しがのふるさと活かづくり支援事業 目指す姿に向けた計画策定やその実現に向けた活動を行う集落等に支援を行います。		
○対象となる地域 地域振興立法で指定された地域および農林統計の農業地域類型において、中間農業地域・山間農業地域に分類される地		
○担当課 滋賀県 農政水産部 農村振興課 地域資源活用推進室 TEL : 077-528-3963 FAX : 077-528-4888 E-mail : gh01@pref.shiga.lg.jp		

事業名	都市農村交流対策事業	相談・研修
▼こんなときに		
農家民宿を開業したい		
▼こんな支援が受けられます		
○内容 農家民宿の開業相談や農家民宿の魅力アップ等に関する研修会の開催を行います。		
○対象となる方の条件 農家民宿に関心のある方		

3. 今後の計画

